

ハローワーク大隅 就職支援業務報告（令和5年度）

1. 所長による分析（業務運営の総括）

（1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

① 各指標に対する取組

当所では、求職者の減少傾向が続く一方で、人手不足感が強まっていることもあり求人数は増加傾向にあることから、就職件数と充足数の増加に取り組むことが重要と考えました。これらの目標を達成するためには、有効求職者に占める高年齢求職者の割合が4割以上と高い点に注目し、この年齢層の就職促進を図ることといたしました。職業紹介部門においては、60歳以上応募可能求人を取りまとめた「シニア応援求人情報」を月2回発行し、高年齢求職者給付認定時の待ち時間を利用した配付や、年代別就職者数の表示を総合受付横に掲示するなどに取り組み、求人者に対しては高年齢者の雇用促進気運の醸成に、求職者に対しては就職活動意欲の喚起に繋がりました。また、求職者担当制の充実及び求職者マイページを活用した求人情報提供の推進にも取り組みました。来所時を中心とした情報提供を行ってまいりましたが、認定日相談等に時間を要することや来所者の減少もあることから、求職者マイページを活用した情報提供も併せて行うことといたしました。求職者担当制の対象者名簿に希望の雇用形態や職種、優先する条件を追加するなどにより、求職者担当制のみならず、求人担当者制の対象求人選定にも活かせるよう工夫を行いました。このことにより、積極的な情報提供を通じて求職者と接触していくことで、来所者増につながるものと考えております。加えて、就職及び求人充足に向けての取り組みとして、事業所の画像情報の収集及び待ち時間を活用した事業所PRのために、所内放映用DVDの収集を積極的に行い、事業所の業務内容の理解促進や応募前の不安払拭に繋げることができました。さらに、高年齢者応援求人への獲得に力を入れ、求人提出を奨励するリーフレットを活用しながら積極的に働きかけを実施したことで、就職件数や充足数の上昇につながったと考えております。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、経験豊富な職員からのPDCA管理に関する研修を実施しました。また、ハローワークの職業相談等においては、各種労働法の知識が必要になることから、労働基準行政職員の講師派遣を受け研修を実施しました。加えて、就職困難者（障害者）に対する支援や事業所へのアプローチに就職困難者の特性を踏まえた正しい知識と理解を持つことが必要になることから、精神障害者雇用トータルサポーターによる研修会を実施しました。

（2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

当所は、有効求職者に対する高年齢求職者の割合が4割以上であることから、高年齢求職者に対する就職意欲喚起及び事業所に対する高年齢者雇用の促進のため、60歳以上の就職先職種別ランキングを、総合受付横に配置したホワイトボードに「ご就職おめでとうございます」と題し表示しています。シニア応援求人情報誌についても、発行回数を月2回を維持し、高年齢求職者給付の認定日における待ち時間対策として、シニア応援求人情報誌を一人一人に手交しています。

また、生活保護受給者等については、地方自治体からの送り出し対象者数が少なかったことから、就職支援ナビゲーターが定期的に志布志市ふるさとハローワークに、出張相談を行うことを地方自治体側も含めて周知したことや支援結果を月単位で共有するなど連携内容の見直しを行ったことにより、R4年度就職件数38件に対しR5年度44件と対前年度累計で6件15.8%増と実績に繋がりました。

(3) その他の業務運営についての分析等

主要指標のうち、雇用保険受給者の早期再就職件数は目標に対し108%増加の445件と目標を達成していますが、就職件数は同90%212件の未達、充足数は同95%101件の未達となりました。これは、求人情報の提供を、雇用保険認定日の相談などの来所時に行うことが効果的であるとの考えから、来所時に注力したことであり、雇用保険受給者の早期再就職件数は目標達成できているものの、求人情報提供件数が限定的となったことが、就職件数と充足数が減少した要因であると考えています。

このことから、来所者減少の実情に鑑み、来所に至らない求職者の取り込みを目指すため、HP等の充実をはじめ、マイページからの情報発信による来所勧奨などを行うことで、ハローワークへ来所するメリット（模擬面接や応募書類添削等の支援が受けられるなど）を積極的に周知し、求職者の減少を抑えていくことが重要であると考えております。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

これまでは、窓口など来所時に行う情報提供に力を入れた一方で、求職者マイページについては、情報提供などのハローワークからのアプローチが少ないことから、求職者マイページ開設のメリットを感じにくくなっていました。このことから、マイページ登録のメリットを感じられるよう、各種情報提供の際にマイページ登録者を積極的に入れるなどにより、メリットを感じられる業務推進が必要であると感じております。そのため、求人情報提供件数のうち、求職者マイページからの求人情報提供割合を上げ、職業紹介につなげることで、更なる潜在求職者等へのアプローチのきっかけとしていきたいと考えています。

また、ハローワークのサービスメニューの紹介が、初回の登録時に集中していたことから、イベントのタイミングに合わせた周知ができるよう配布用のサービスメニューやイベントメニューの見直しを行いました。次年度以降は、HP等からの情報発信の充実を図ることで、さらなる利用につながるよう工夫していきたいと考えています。

2. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハロー ワークの 職業紹介 により、 正社員に 結びつい た就職氷 河期世代 の不安定 就労者・ 無業者の 件数（必 須指標）	生活保護 受給者等 の就職率						
令和5年度目標	2,112	1,856	412	90.0%	90.0%	82	65.0%						
令和5年度実績	1,900	1,755	445	76.2%	100.0%	89	72.1%						
目標達成率	90%	95%	108%			109%	111%						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。